

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2014年12月25日
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)

75号

「12月(じゅうにつき)の歌」(作詞:マルシャーク、訳詞:湯浅芳子、作曲:林光)がびつたりの季節です。「12月の歌」は、マルシャークの児童劇「森は生きている」のクライマックスで歌われる歌で、保育園でよく歌います。1歳児も「もえる・もえる」と、そこだけははっきりと歌います。2歳児の子が担任との会話の中で「冬は寒いね、夏は暑くて、春はなんだろうね?」と問いかけて、「はるは やさしくてるがよい」と答えたのにはびっくりです。「12月の歌」の歌詞そのままの言葉だったのです。うたが子どもの生活の中に入ってきていることに、この歌の魅力を再発見しました。(T・R)

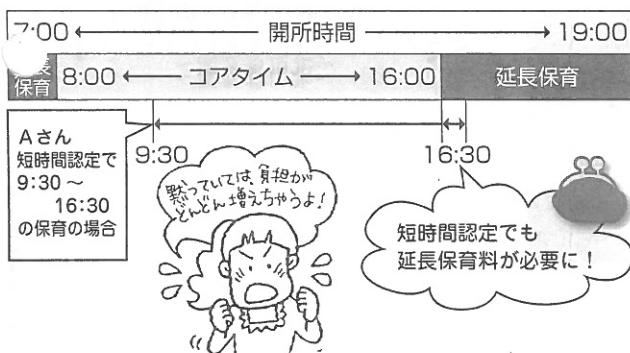
表1 要保育度の認定区分

	保育の必要性	
	なし	あり
3~5歳	1号認定	2号認定(短時間または標準時間)
0~2歳		3号認定(短時間または標準時間)

表2 保育時間の認定区分

	就労時間/月	保育時間
短時間認定	120時間未満	1日8時間まで
標準時間認定	120時間以上	1日11時間まで

図1 開所時間7:00~19:00で、コアタイムが8:00~16:00(8時間)に設定された施設の場合



保育施設の利用方法が大きく変わる!

新制度で最も大きく変わることは、保育施設の利用方法です。これまでは、市区町村の窓口申請することで保育園に入所してきましたが、新制度では、保育園に入所するためには、まず市区町村の窓口で要保育度の「認定」を受けなければなりません。要保育度の「認定」は別掲(表1)のように、三つに区分されます。

2号認定と3号認定にある「標準時間」と「短時間」は、正規パートか等の雇用形態には関係なく、働いている時間で区分されます(表2)。それも、父母2人の勤務時間ではなく、どちらか短いほうの勤務時間で認定されます。また、「認定証」の発行は申請後30日以内とされていますが、

延長保育も大きく変わる

認定された時間をこえて子どもを預ける場合は、自己負担10割の延長保育料を払わなければいけません。それも、認定された「短時間」「標準時間」の枠以上が延長保育というのではなく、施設ごとに設定された時間枠(コアタイム)以外の保育は、たとえ認定時間内であっても

学習会

「子どもも、子育てで支援新制度」について学ぼう!

●新制度で保育はどう変わるの?

2015年4月から、「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。保育の制度は、どのように変わるのでしょうか。9月28日、陽光保育園では東京都大学客員准教授でジャーナリストの猪熊弘子さんをお招きし、子ども・子育て支援新制度について、主に国の定めを中心にお話をうかがいました。

講師 猪熊弘子さん

少しでも早く保育園に預けたい場合に、すぐに利用できないというのでは、不安が募ります。

保育を必要とする場合(2号認定と3号認定の場合)は、認定申請と同時に利用の申込みもできますが、必ずしも希望する施設に入所できるとは限りません。従来の認可保育園を希望しても小規模保育園などに割り振られる場合もあります。



学習会には大勢の参加者があり、猪熊さんのお話にも熱がこもった

も、延長保育となります(図1参照)。つまり、標準認定でも短時間認定でも、コアタイム外は延長保育となり、特に短時間認定で延長保育になると、かなり割合高くなってしまふ可能性が高いといえます。

ただ、板橋区の場合、いまだ詳細が明らかになっていないため、ここで明記することはできない状況です。

あいまいなまに、来年度スタートする新制度

新制度の基本は、利用者と施設が直接契約するというものですが、保育所だけは従来どおり市区町村の責任で保育が実施されることになっています。しかし、お金の流れは今までとまったく変わります。これまで施設に対して支払われていた補助金が、新制度では、保護者(個人)に公費が給付される仕組みに変わり、その給付金を施設が代理受領することになります。

その給付金の額は、公定価格という、およそ保育にはなじみのない用語が使われていますが、施設ごとに公定価格が決まられ、それによって給付金も変わってくるのだそうです。このあたりはまだ板橋区では明らかになっていません。

東京の待機児童数は8672名と過去最高となっている現在、預かってもらえればどこでもよいと預かってもらえればよいという現状があります。すべての子どもは平等に保育を受ける権利を持ち、その責任は国・市区町村だけでなく都にも課せられています。

目の前の子どもたちが最善の保育を受けられるように、平等に保育されるように、一緒に考え、自治体に粘り強く要望し続けていきたいと思います。

(陽光保育園保育士 瀧口友美)

社会福祉法人陽光会では職員を募集しています。

社会福祉法人陽光会では2016年度から練馬区立桜台第2保育園の運営を受託することが決まりました。2015年度から引き継ぎが始まるのに伴い、職員を募集します。

- ◆第一次募集(下記職員を募集します)
 - 採用試験 2015年1月18日
 - 応募締切 1月16日
 - 2015年11月就労 看護師(経験者)
 - 2016年1月就労 保育士(経験者)
 - 栄養士(経験1年以上)
 - 調理員(経験者)
 - 2月就労 用務(環境・衛生)
 - 4月就労 事務員、保育士(新卒)
 - 非常勤職員
- *条件等は以下までお問い合わせください。
陽光保育園 03-3956-1068(担当:徳留)

●陽光保育園●

親子でいっしょにあそびましょう

今年度はあと3回です。
1月20日(火) 2月17日(火)
3月03日(火)

*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。詳しくは下記までお問合せください。
☎03-3956-1068



図書室で工作教室

●板十小あいキッズ

●あいキッズの秋はハロウィンの秋●

学童クラブの室内は、ハロウィンの雰囲気です。子供たちは衣装作りなども楽しんでいました。夏休みに、マーブリングで作った紙を使って魔女と妖怪のちぎり絵も作成。ハロウィンの雰囲気を一層引き立てました。

一般では工作イベント(ハロウィンリース作り)を行い、学童児も合わせ70名が参加。折り紙で作ったカボチャやおばけを思い思いに飾り、リースを大事そうに持ち帰るうれしそうなお表情が印象的でした!

●陽光保育園

●地域のお祭りに参加●

9月20日、大谷口上町地域永川神社のお祭りに4歳児・5歳児クラスの子どもたちが参加しました。朝から近くのえび山広場に出かけていくと、近所のおばさんやおばあちゃんのお友達など子どもたちの知っている方も多く、「あら、○○ちゃん、おいでおいで」と声をかけられ、上町親睦会の役員のみなさんからは「待つてましたよ」とハッピーをプレゼントしてもらいました。ハッピーをもらった子どももなかなかのものです。地域で見守られ、大事にされていることを肌身で感じました。子どもにとっても大人にとっても素敵な時間となりました。



みんなでおそろいのハッピーを着て、子ども用の山車をひきました

●5歳児の食育のとりくみ●

今年の1月に仕込んだ味噌が10月に出来ました。ちゃんとお味噌になってるかなあ?と樽を開けるまでドキドキしていた子どもたちでしたが、樽のふたを開けるとすぐに味噌のよい香りが部屋中に広がりました。出来上がった味噌は給食で味噌汁と味噌きゅうりにして、保育園のみならず手作り味噌の味を楽しみました。家族で味噌を味わってもらえるように味噌を作った年長児にお土産として渡し、保護者にも喜んでもらえました。



ドキドキしながら容器のふたととると……

こあんない

- 陽光保育園
- 共育講座
- 日時 1月16日(金) 19時
- 講師 西川由紀子先生
- 荒馬座ミニ公演
- 日時 2月6日(金) 10時
- 陽光保育園卒園式
- 日時 3月21日(祝) 9時
- *会場はすべて陽光保育園ホールです。
- 北町保育園
- 共育講座
- 日時 1月27日(火) 18時30分
- 場所 北町保育園ホール
- 講師 菅原裕子先生
- 荒馬座ミニ公演
- 日時 2月18日(水) 10時
- 場所 北町保育園ホール
- 北町保育園卒園式
- 日時 3月17日(火) 9時30分
- *会場はすべて北町保育園ホールです。
- 板橋第十小学校あいキッズ
- 学童フェスティバル
- 日時 2月13日(金)

生き物を育てる

子どもたちは生き物が大好きです。朝泣きながら登園する子も、かぶと虫を見た途端目も心も奪われます。自然は子どもたちの教科書です。おたまじゃくしをそとと触り、飛んでいくちゅうちょにバイバイをして、不幸にも死んでしまったカニに涙して、毎日、餌や水をあげていのちを守り、生きることを実感します。

今回は、生き物を飼ったり、野菜を育てる活動を楽しくしている陽光保育園の子どもたちの様子をご紹介します。



走りまわった。(1歳児クラス担任 及川悦子)

1歳児 「ちゅうちょささ〜ん、ばいばい〜！」

初夏、散歩の途中で、みかんの木に、あおむしを見つけた。子どもたちは興味津々で、「みせて」と集まってきました。

その日から、クラスで飼うことにしました。「あおむし」と毎日指さしては見ていたのですが、あるとき「いない、いない」と大騒ぎ。さなぎになっていたのです。「あおむしさん、ねんねしてるんだよ」と話してあげると、「おきてー」と声をかけていました。一週間後、チョウになった朝、「ちゅうちょ、ちゅうちょ」と子どもたちが笑顔でうれしそうに教えてくれました。そしてペランダから、みんなで「バイバイ」と手を振って見送りました。

2歳児 あひる組に カニさんがきた。

夏、沢カニを2匹持って登園したAちゃんとママ。この機会にと、クラスで沢カニを飼いはじめました。

はじめは興味津々、見て楽しむだけだった子どもたち。世話をする大人の姿を見て、しだいに「やりたい」「やらせて」と、カニが入っているケースや石、隠れ屋のカップを洗ったり、餌(かつおぶし)を自分たちの手であげるようになりました。

お世話の後は、必ずカニを囲んで観察。「あつ食べたー」「石に登ったー」「つめ大きい」「怒ってるみたい」といろいろ気づくようになった子どもたち。途中、場所をめぐってケンカになることもあったけれど、「いいよ、こゝ」「まってね」とやりとりできるようになり、いつの間にか朝来ると、「かにさん元気?」「帰りは「バイバイ」と交わす姿を見ていると、それぞれがあひる組の一員となって生活していることを実感します。(2歳児クラス担任 薄井直子)

4歳児 みんなで野菜を育てたよ!

春、かもしか組(5歳児)から譲り受けたうさぎ組(4歳児)の畑にミニトマトとオクラを植え、屋上ではプランターでジャガイモを育て始めました。

子どもたちは水やり担当が楽しみで、一番の日は「やったー! 水やり」とガッツポーズ。さつさとジョウロに水を汲みまます。野菜をじっくり観察し、今か今かと収穫の日を楽しみに過ごしていました。はじめは、思いのままに水をやってた子どもたちですが、自然の営みを知らせるうちに、大雨の次の日には「昨日、いっぱいお水



上：カニの容器をのぞき込む2歳児
下：「ジャガイモとれたよ!」屋上で4歳児

続 子どもの世界

～北町保育園～

2歳児 ― 午睡前に

「おやすみー」と、トントンしようとすると、「ゆめのなかに いってきまーす」と言って一人で目をつぶって眠りにつくMちゃん。思わず「おやすみ」でなく「いってらっしゃい」と返してしまいました。

3歳児 ― 家庭で

「ねえ ママ、〇〇ね、ほいくえんで、よくしてもらってるよ」
母、爆笑。

3歳児 ― 保育室で

Sちゃん「せんせいのなまえは、さかもとせんせい?」
保育士「そうだよ! Sちゃんのママの名前は?」
Sちゃん「え? おかあさんだよ。おかあさんのなまえは、お・か・あ・さ・んていうの!」



5歳児は6月、飯能河原への遠足でおたまじゃくしを見つけて……

飲んだから今日はちよつとでいいよね?」と天候や土の状態に合わせて水をやることも学んでいきました。

大事に育てた野菜の収穫は大きな喜びでした。ジャガイモは、園内でのお泊まり保育の日に収穫。目をキラキラと輝かせて、「あつたー!」と嬉しそうに掘っていました。掘りたてのジャガイモは炭火で焼き、みんなで食べました。ミニトマトとオクラは夏の間、毎日のように収穫でき、給食の先生と相談して、スープやサラダに入れてもって食べました。

苦手の野菜でも自分たちで一生涯懸命に育てた野菜は特別な味がするようで、みんな笑顔で食べていました。

狭い花壇ですが、これからも作物や花を植えて子どもたちと大切に育てていこうと思えます。(4歳児クラス担任 内藤千秋)

余生は憲法第九条を守るために

片山高司

NHKのテレビドラマ「花子とアン」で、歌人の柳原白蓮の長男が戦死し、白蓮が半狂乱になるシーンがあった。息子の服装から見ると、陸軍士官学校の生徒である。自由奔放と思われていた白蓮の息子が何故親の意思に反して軍人の道を選んだのか、不思議に思った人も多かったと思う。貧農の長男だった花子の兄も自ら進んで軍隊に入り、憲兵(陸軍の警察)になって画面に登場する。

昭和の初め、凶作が続き、さらに世界的経済不況が広まり、「大学は出たけれど」という言葉が流行した時代だった。

当時、世界的経済不況から脱出するため、ときの政府がとったのは、海外植民地の拡大である。アジア共栄圏拡大のスローガンが叫ばれ、これが太平洋戦争へと繋がっていったのは周知のことである。

このとき、何故、思想の自由を主張する女流歌人の子ともまでが、軍人を目指したのか。軍国主義化の教育は、昭和の初めから計画され実行されていた。小学校の国語教科書は「ススメ ススメ ヘイタイ ススメ」から始まり、「修身(道徳)教育」にまで軍国主義教育が導入されたのである。

私自身、「米、英の侵略から、祖国、父母、姉弟を守れ」というかけ声に踊らされ、1944年、特別幹部候補生に志願し、約半年の基礎訓練を経て、当時、日本の植民地であった台湾南部の高雄市に派遣された。任務はフィリピンと台湾の間にあるバシー海峡や台湾海峡に散在する島々に展開していた。兵士たちへの食料と兵器の補充である。制空権も制海権も失っていたこの地域に近寄ることは、まさに命がけであった。沖縄戦を目前にした、高雄市と港湾施設を目標にした「鉄の雨が降ってきた」といわれた絨毯爆撃、特に、私が指揮を執っていた台湾海峡での小型輸送船の沈没、遭難は、まさに生死を分かち出来事であった。

最近、教育委員会に対する文部科学大臣の指導権の拡大、小・中学生向けの道徳の強化が問題になっている。さらに、私たちが世界に誇る日本国憲法第九条も、政府の勝手な解釈により空洞化されようとしている。私も米寿を迎える年になった。数百万の人々の犠牲の上に獲得した憲法第九条を守るために、余生を頑張りたいと考えている。(板橋区大谷口在住)

戦争と私

シリーズ

【訂正とお詫び】
小紙前号の「戦争と私」の北村みち子さんの文中、B29とすべきところ、B27としてしまいました。訂正してお詫びいたします。(編集部)

迷惑をおかけし申し訳ありません。(編集部)

【5歳児クラス担任 中村里子】

7月の檜原村でのお泊まり保育のときに川に還したため、保育園には1カ月くらいしかいませんでしたが、子どもたちには楽しい生き物との触れ合いでした。

相手の親御さんは立腹。相手に謝りにいこうにも息子は否定しているし。否定している以上、怒るに怒れないし、息子の言うことを信用しないのもどうかと……。

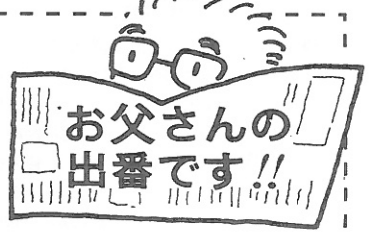
そんなとき、「うちの子に限って……」とか「こんな子に育てたつもりはない」なんて言葉が頭をよぎる。子どもが犯した事件があると、ニュースで親が言っている常套句だ。ああ、こりや危険だ。自分はどうかだろうか? 息子のことを理解していたつもりになっていただけだったのではないかと? しっかりコミュニケーションをとっているつもりになってないかと? そんな自問自答を続ける日々が続く……。

結果的に、息子には何も非がなかったとのこと。とりあえずホッとした。ホッとした反面、これから先、こんなイザコザは多々あるのだろうか、と。

そんなときは客観的に、かつ感情的にならず、公平に冷静に対処することが必要だと実感した。ただ、自分と息子の距離感を見つめ直す、良いきっかけとなった。今回、いろいろ考える中で「息子から出てくる言葉じゃない」と気づけたこと。とりあえず、今までの息子とのコミュニケーションは間違っていないかと、ちよつとした自信を積み重ねることができた。

早すぎる子どもの成長に追いついていけない、親父つづりが浮き彫りになった、そんな小さなもめごと。

(板橋区小高いキッズ児童クラブ1年生・志田武蔵の父 志田巖)



お父さんの出番です!!

ちよつと前に「でせ同士の「言わない」の小さなもめごとがあった。詳しく聞くと、息子の非がある。感情的に怒るのをぐと堪えて、いろいろ考えてみる。

「どうしようか? なんて、そんな言葉が出てきたのかな」

「言われた子の気持ちからならなかったのかな?」

しかしそのうち、息子から出てくるような言葉じゃないことに気づき、またいろいろ考える。「子ども同士の言い間違え、聞き間違いの可能性」「相手に言われて、オウム返し的に口から出た可能性」等々……。しかも息子は「言っていない」と否定している。さて、どうしたものか……。

相手の親御さんは立腹。相手に謝りにいこうにも息子は否定しているし。否定している以上、怒るに怒れないし、息子の言うことを信用しないのもどうかと……。

そんなとき、「うちの子に限って……」とか「こんな子に育てたつもりはない」なんて言葉が頭をよぎる。子どもが犯した事件があると、ニュースで親が言っている常套句だ。ああ、こりや危険だ。自分はどうかだろうか? 息子のことを理解していたつもりになっていただけだったのではないかと? しっかりコミュニケーションをとっているつもりになってないかと? そんな自問自答を続ける日々が続く……。

結果的に、息子には何も非がなかったとのこと。とりあえずホッとした。ホッとした反面、これから先、こんなイザコザは多々あるのだろうか、と。

そんなときは客観的に、かつ感情的にならず、公平に冷静に対処することが必要だと実感した。ただ、自分と息子の距離感を見つめ直す、良いきっかけとなった。今回、いろいろ考える中で「息子から出てくる言葉じゃない」と気づけたこと。とりあえず、今までの息子とのコミュニケーションは間違っていないかと、ちよつとした自信を積み重ねることができた。

早すぎる子どもの成長に追いついていけない、親父つづりが浮き彫りになった、そんな小さなもめごと。

(板橋区小高いキッズ児童クラブ1年生・志田武蔵の父 志田巖)